

コース名	科目名		対象学年
人体の構造と機能 I	人体構造入門		1
開講学期	科目責任者	副責任者	全体資料
1 学期	樋田 一徳		無

授業到達目標

予め配付する講義録をもとに、受講（講義と実習）と自己学習（教科書熟読・グループ学習）による自学自修をバランスよく実行できるようにする。

具体的内容としては、下記の事項を説明できることを目標とする。

1. 人体の支柱となる骨を列挙し、骨と骨の連結による骨格の構造を系統的に説明できる。
2. 主要な骨格（頭蓋、胸郭、脊柱、骨盤）とそれに関連する器官とその位置関係を説明できる。
3. 心臓の構造と関連して血液循環経路と呼吸器系の関係を説明できる。
4. 中枢神経系と末梢神経系の構成と機能を説明できる。
5. 感覚器と脳神経の関係を説明できる。
6. 頭頸部、胸腹部、骨盤腔の内臓の構成と位置関係を説明できる。
7. 胸腹部内臓と漿膜との関係を説明できる。
8. 細胞の微細構造と機能を説明できる。
9. 細胞集団としての組織の構成、機能分化を説明できる。
10. 主要な解剖学用語（日本語、英語、ラテン語など）を覚える。
11. 医学史を概説できる。
12. 篤志献体を理解、医の倫理を学ぶ。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	5/ 8	水	1	講義	樋田	解剖	人体構造概観、医学史概説、医の倫理	A-1-1), A-1-1)-1 A-1-1)-2, A-1-1)-3
2	5/ 8	水	2	講義	樋田	解剖	人体の構成：分子～細胞～組織～器官～個体	C-2-2)-(1), C-2-2)-(2)
3	5/ 9	木	1	講義	樋田	解剖	運動器系(1)：人体の構築	D-1-1)-1, D-4-1)
4	5/ 9	木	2	講義	樋田	解剖	運動器系(2)：骨格・関節	D-4-1)-1
5	5/13	月	5	講義	樋田	解剖	運動器系(3)：筋・靭帯	D-4-1)-1
6	5/13	月	6	講義	樋田	解剖	消化器系	D-7-1), D-7-1)-1 D-7-1)-2, D-7-1)-3
7	5/14	火	3	講義	樋田	解剖	呼吸器系	D-6-1), D-6-1)-1 D-6-1)-2, D-6-1)-3
8	5/15	水	1	講義	樋田	解剖	循環器系	D-5-1), D-5-1)-1 D-5-1)-2, D-5-1)-3 D-5-1)-5, D-5-1)-6 D-5-1)-7, D-5-1)-8
9	5/15	水	2	講義	樋田	解剖	泌尿生殖器系	D-8-1), D-8-1)-2 D-8-1)-4, D-9-1) D-9-1)-3, D-9-1)-7
10	5/17	金	4	講義	樋田	解剖	内分泌系	D-12-1), D-12-1)-2
11	5/17	金	5	講義	樋田	解剖	血液・免疫系	D-1-1), D-1-1)-2 D-1-1)-5, D-1-1)-6 D-1-1)-7, D-1-1)-8
12	5/20	月	3	講義	樋田	解剖	脳神経系(1)：構成、中枢神経系	D-2-1), D-2-1)-(1) D-2-1)-(1)-1, D-2-1)-(4)-1 D-2-1)-(4)-2
13	5/20	月	4	講義	樋田	解剖	脳神経系(2)：末梢神経系	D-2-1)-(1)-1, D-2-1)-(2)-3 D-2-1)-(3)-2
14	5/21	火	3	講義	樋田	解剖	脳神経系(3)：自律神経系、感覚器系	D-2-1)-(6)-1, D-2-1)-(6)-2 D-2-1)-(7)-1
15	5/21	火	4	講義	樋田	解剖	人体の階層的構成	C-2-2), C-2-2)-(2)-1
16	5/22	水	1	中間試験	樋田	解剖	中間試験	
17	5/22	水	2	講義	嶋	解剖	細胞(1)：概説、顕微鏡、染色法	C-1-1)-(1), C-1-1)-(1)-1 C-1-1)-(1)-2

18	5/23	木	1	講義	嶋	解剖	細胞(2)：細胞の構造①；細胞膜と細胞質	C-1-1)-(1), C-1-1)-(1)-3 C-1-1)-(1)-4, C-1-1)-(1)-5 C-1-1)-(1)-6, C-1-1)-(1)-7
19	5/23	木	2	講義	嶋	解剖	細胞(3)：細胞の構造②；核、遺伝子	C-1-1)-(2)-3, C-1-1)-(2)-4 C-1-1)-(2)-5
20	5/27	月	5	講義	小野	解剖	上皮組織(1)：分類	C-2-2)-(1)-1
21	5/27	月	6	講義	小野	解剖	上皮組織(2)：上皮細胞	C-2-2)-(1)-1
22	5/28	火	5	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(1)：オリエンテーション	C-1-1)-(1)-1, C-2-2)-(1)-1
23	5/28	火	6	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(2)：顕微鏡と組織標本の取り扱い	C-2-2)-(1)-1
24	5/30	木	5	講義	小野	解剖	上皮組織(3)：腺	C-2-2)-(1)-1
25	5/30	木	6	講義	嶋	解剖	支持組織(1)：結合組織	C-2-2)-(1)-2, D-1-1)-1 D-1-1)-3, D-1-1)-4 D-1-1)-5, D-1-1)-7
26	6/ 3	月	1	講義	嶋	解剖	支持組織(2)：軟骨組織	D-4-1)-1
27	6/ 3	月	2	講義	嶋	解剖	支持組織(3)：骨組織	D-4-1)-1, D-4-1)-6
28	6/ 4	火	1	講義	嶋	解剖	支持組織(4)：血液	C-2-2)-(1)-3, D-1-1)-1 D-1-1)-2, D-1-1)-3 D-1-1)-4, D-1-1)-5 D-1-1)-6, D-1-1)-7 D-1-1)-8
29	6/ 5	水	1	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(3)：上皮組織①；単層円柱上皮	C-2-2)-(1)-1
30	6/ 5	水	2	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(4)：上皮組織②；重層扁平上皮	C-2-2)-(1)-1
31	6/10	月	1	講義	嶋	解剖	支持組織(5)：脈管	C-2-2)-(1)-3
32	6/10	月	2	講義	小野	解剖	筋組織(1)：骨格筋	C-2-2)-(1)-5
33	6/11	火	5	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(5)：支持組織①；結合組織	C-2-2)-(1)-2
34	6/11	火	6	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(6)：支持組織②；軟骨組織	D-4-1)-1
35	6/13	木	6	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(7)：支持組織③；骨組織	D-4-1)-1, D-4-1)-6
36	6/18	火	1	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(8)：支持組織④；脈管	C-2-2)-(1)-3
37	6/18	火	2	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(9)：支持組織⑤；血液	D-1-1)-6, D-1-1)-7 D-1-1)-8
38	6/19	水	1	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(10)：支持組織⑥；骨髄	D-1-1)-1
39	6/19	水	2	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(11)：筋組織①；骨格筋	C-2-2)-(1)-5
40	6/22	土	1	講義	小野	解剖	筋組織(2)：心筋、平滑筋	C-2-2)-(1)-5

41	6/22	土	2	講義	小野	解剖	神経組織(1)：構成、灰白質と白質	C-2-2)-(1)-4, D-2-1)
42	6/25	火	1	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(12)：筋組織②；心筋	C-2-2)-(1)-5
43	6/25	火	2	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(13)：筋組織③；平滑筋	C-2-2)-(1)-5
44	6/27	木	1	講義	樋田	解剖	神経組織(2)：ニューロン	C-2-2)-(1)-4
45	7/ 1	月	1	講義	樋田	解剖	神経組織(3)：シナプス	C-2-2)-(1)-4
46	7/ 1	月	2	講義	樋田	解剖	神経組織(4)：グリア	C-2-2)-(1)-4
47	7/ 3	水	1	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(14)：神経組織①；灰白質と白質	C-2-2)-(1)-4
48	7/ 3	水	2	実習	樋田・嶋 小野・中村 佐藤慧	解剖	組織学実習(15)：神経組織②；ニューロン	C-2-2)-(1)-4
	7/ 4	木	1	講義末試験			講義末試験	
49	7/ 4	木	2	講義	樋田	解剖	人体構造入門まとめ、篤志献体	A-1-1), C-2-2) C-2-2)-(1), C-2-2)-(1)-1 C-2-2)-(1)-2, C-2-2)-(1)-3 C-2-2)-(1)-4, C-2-2)-(1)-5

評価方法

[講義末試験]35% (筆記試験にて行う。)

[中間試験]35% (筆記試験にて行う。)

[実習点]20% (実習の際のスケッチ点と講義末試験の際の画像試験の結果を総合的に評価する。)

[出席状況 (受講態度)]10% (出席状況と受講態度を重視し、段階的に評価する。)

[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験、出席・受講態度評価、実習態度評価

課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて

スケッチはコメントおよび評点を付して返却する。試験直後の講義では、試験内容の解説を行う。

教科書

ISBN-9784784931798, カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版, 坂井 建雄 (編集), 河原 克雅 (編集), 日本医事新報, 2012/01/11

ISBN-9784260015318, 標準組織学 総論 第5版, 藤田 尚男, 医学書院

ISBN-9784524260041, diFiore 人体組織図譜 原著第11版, V. P. Eroschenko, 相磯貞和 (翻訳), 南江堂, 2011/04/27

参考書

ISBN-9784263731468, カラーアトラス機能組織学 原著第2版, Jeffrey B. Kerr, 河田 光博 (監訳), 小路 武彦 (監訳), 医歯薬出版, 2013/01/10

ISBN-9784758300889, 解剖学 (カラーイラストで学ぶ 集中講義), 坂井 建雄 (編集), メジカルビュー社, 2012/03/30

ISBN-9784890133086, 最新カラー 組織学, L. P. ガートナー, 井上 貴央 (監修), Leslie P. Gartner (原著), James L. Hiatt (原著), 西村書店, 2003/05/01

ISBN-9784890134823, カラー ポケット組織学, リサ・M・J・リー (著/文), 樋田一徳 (監訳), 西村書店, 2018/03/01

準備学習 (予習・復習等)

講義の全内容は、講義録として予め冊子として配布する。予習・復習は不可欠で、講義録をもとに、講義前日までの予習、講義当日の復習は必ず行うこと。学習法は講義・実習で教示する。教科書を熟読することが特に重要である。1日の講義・実習に対して、予習復習にそれぞれ60分程度必要である。

講義についての注意事項

- 1：人体の構造を自らの身体と生命現象を参考に理解してほしい。覚えることばかりに拘らず、人体に興味を持ち、生命の不思議を考えてほしい。
- 2：限られた時間で人体構造の概要を概説するので、予め配布する講義録をもとに、各自のメモ、ノートを加えて自分なりの学習法を身につけよう。
- 3：質問、学習方法等気軽に相談してほしい。連絡は、1) 教員秘書カウンターを通して連絡 (下記オフィスアワー)、あるいは 2) メールで連絡する。

昨年度からの変更点・改善項目

(特になし)

学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

本科目履修には高校生物基礎・生物の知識が必要である。基礎医学として医学知識習得の礎である。1年次の後半にて学修する人体解剖実習や2年次の病因と病態履修へと続く学問である。

ナンバリング

BPIH116